

2021 年度 シラバス (授業要覧)

共通基礎科目 2 年生



科 目	人間学Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 必修、人間の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行と人間学座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。御命日勤行の内容は、勤行・仏教讃歌・講話・感話で、講話は教科書をもとに担当教員が、感話は担当クラスの学生が行う。いずれもテーマは「共に生きる」。（講話のテーマは「本学の願い」、感話のテーマは、「出遇い」、または、「生きる」。）人間学座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合う。		
到達目標	「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのか尋ねることができる。講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できる。		
学習成果の 評価基準	「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	人間学オリエンテーション 人間学とは・仏教讃歌講義・勤行練習	「授業要覧」を読む	
2.	御命日勤行（4月）「本学の願い」に学ぶ① 講話：教務部長 感話クラス：1年（専攻・仏） 2年（仏・教職員）	教科書、人間学ノートを読む	
3.	人間学座談①	御命日勤行を振り返る	
4.	御命日勤行（5月）「本学の願い」に学ぶ② 講話：表現学科 感話クラス：1年（福祉・M） 2年（福祉・M）	教科書、人間学ノートを読む	
5.	人間学座談②	御命日勤行を振り返る	
6.	御命日勤行（6月）「本学の願い」に学ぶ③ 講話：福祉学科 感話クラス：1年（K・演） 2年（K・演）	教科書、人間学ノートを読む	
7.	人間学座談③	御命日勤行を振り返る	
8.	御命日勤行（7月）「本学の願い」に学ぶ④ 講話：仏教学科 感話クラス：1年（J・I） 2年（J・I）	教科書、人間学ノートを読む	
9.	人間学座談④	御命日勤行を振り返る	
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『釈尊 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（20％）人間学ノート提出（80％） 提出された人間学ノートにコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	人間学は全学を学年ごとに二分割し実施する。		
質問・相談等 の受付			

科 目	人間学Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 必修、人間の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	講義 1単位
授業概要	「人間学」は、御命日勤行と人間学座談で構成され、「本学の願い」に触れることを通して人間を学ぶ。御命日勤行の内容は、勤行・仏教讃歌・講話・感話で、講話は教科書をもとに担当教員が、感話は担当クラスの学生が行う。いずれもテーマは「共に生きる」。（講話のテーマは「本学の願い」、感話のテーマは、「出遇い」、または、「生きる」。）人間学座談は、御命日勤行での講話・感話を聞いて、自分自身が感じたこと、考えたことを少人数のクラスで語り合う。		
到達目標	「本学の願い」に触れ、人間としてどう生きるのか尋ねることができる。講話や感話から他者の意見を聞き、自分自身の考えを表現できる。		
学習成果の 評価基準	「人間学」を通して感じたこと、考えたことを「人間学ノート」に記述する。「人間学」への取り組み姿勢（聞く、書く、語る）を受講態度の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	人間学オリエンテーション 仏教讃歌講義・勤行練習	「授業要覧」を読む	
2.	御命日勤行（10月）「本学の願い」に学ぶ① 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む	
3.	人間学座談①	御命日勤行を振り返る	
4.	御命日勤行（11月）「本学の願い」に学ぶ② 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む	
5.	人間学座談②	御命日勤行を振り返る	
6.	御命日勤行（12月）「本学の願い」に学ぶ③ 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む	
7.	人間学座談③	御命日勤行を振り返る	
8.	御命日勤行（1月）「本学の願い」に学ぶ④ 講話： 感話クラス：	教科書、人間学ノートを読む	
9.	人間学座談④	御命日勤行を振り返る	
10.			
11.			
12.			
13.			
14.			
15.			
教科書	『親鸞 生涯と教え』（東本願寺出版）・「人間学ノート」		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（20％）人間学ノート提出（80％） 提出された人間学ノートにコメントし、フィードバックします。		
特記すべき 事項	人間学は全学を学年ごとに二分割し実施する。 講話・感話クラスについては、別途知らせる。		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	社会との出会い	開講時期 履修方法	2年後期 必修、人間の基礎
担当者	中島 航	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	学科ごとに少人数クラスで、感話と座談を中心とした授業を行う。感話と座談、そして、感想文を書くことを通して社会について学ぶ。		
到達目標	社会の出来事についての対話を通して、社会とは何かを考え、表現することができるようになる。		
学習成果の 評価基準	授業内課題、感想文提出への取り組みを「受講態度」「授業内課題」の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	「社会との出会い」とは何を学ぶ時間かを確認—全体講義—	「授業要覧」を読む	
2.	自己紹介をする①	発表準備	
3.	自己紹介をする②	発表準備	
4.	他己紹介をする①	発表準備	
5.	他己紹介をする②	発表準備	
6.	感話をする	発表準備	
7.	本学の願い「共に歴史と世界を生きる」について考える	発表準備	
8.	「生きる方向」について考える	発表準備	
9.	「周りの発見」について考える	発表準備	
10.	「愛情」について考える	発表準備	
11.	「友達」について考える	発表準備	
12.	「家族」について考える	発表準備	
13.	「社会との関わり」について考える	発表準備	
14.	「本当の自由」について考える	発表準備	
15.	「本当の平等」について考える	発表準備	
教科書	『親鸞 生涯と教え』		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（40％）授業内課題（30％）定期試験（30％）		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科 目	基礎教養	開講時期 履修方法	1 年後期 選択、専門科目
担当者	PCワークス	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	職場における情報技術であるパソコン等を、民間企業の採用試験に多く用いられている実技試験に即した内容で学習する。即戦力としてのパソコン操作の基礎をマスターすると共に、就職試験に対応した技能を身につける。ひとりひとりが現場対応能力に自信を持つと共に、アイデアを出し合ったり操作を伝えあったりする。		
到達目標	PowerPoint・Excel・Word・ビジネスメールの単元ごとに課題を作成できる。 習得した技能を活用して、指定された時間内でテーマに沿ったオリジナルの成果物を作成できる。		
学習成果の 評価基準	組織が必要とする文書作成、動画編集、ビジネスメール、広報書類・販促物等、情報が正確に伝わる成果物を作り提出する。 各単元の課題への取り組み姿勢（聞く、データ入力する、保存する、バックアップを取る）を受講態度の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	パワポでつくる広報（1）	様々な広報誌を閲覧するPowerPointで文書作成	
2.	パワポでつくる広報（2）	広報誌の工夫する点を考えるPowerPointの機能習熟	
3.	パワポでつくる広報（3）	オリジナル広報誌案を考える オリジナル広報誌作成	
4.	ビデオエディタ動画編集（1）	動画の種類を知る 動画編集に慣れる	
5.	ビデオエディタ動画編集（2）	動画の取扱注意事項を調べる 動画編集を工夫する	
6.	ビデオエディタ動画編集（3）	どのような場面で有効か考えるオリジナル動画作成	
7.	ワードで差し込み印刷（1）	差し込み印刷とは何か調べる 差し込み印刷の反復演習	
8.	ワードで差し込み印刷（2）	差し込み印刷の種類を知る ラベル印刷を1人で作成	
9.	ワードで差し込み印刷（3）	差し込み印刷の活用を考える 差し込み印刷の応用演習	
10.	ビジネスメール（1）	メール文書の注意点を調べる ビジネスメールの文面作成	
11.	ビジネスメール（2）	送受信時の注意点を調べる 送受信のルールに沿う演習	
12.	ビジネスメール（3）	様々なメールについて知る 様々なメール対応を演習	
13.	エクセルで計算書（1）	見積書・計算書作成とは 効率よく情報処理する演習	
14.	エクセルの活用（2）	民間企業で求められる技能とは限られた時間で情報整理	
15.	採用試験の傾向と対策	素朴な疑問や質問を準備する 質疑応答の内容を活かす	
教科書	PCワークスオリジナルテキスト		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業態度（10％）、授業内課題（70％）：単元（各3回）毎に課題を提出、コミュニケーション（報告・連絡・相談）（20％）		
特記すべき 事項			
質問・相談 の 受 付			

科 目	簿記	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	小西廣満	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	商店や株式会社などで働くために必要としている、簿記の初歩的な知識と実務能力を学ぶ。		
到達目標	日本商工会議所主催の簿記検定試験・初級商業簿記の資格取得ができるようになる。		
学習成果の 評価基準	簿記検定試験・初級商業簿記の資格取得ができるようになるために、定期試験において9割以上の解答ができる。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	簿記の基礎概念	簿記学習の目的が理解できる	
2.	資産・負債・資本とは	資産・負債・資本の意味が理解できる	
3.	貸借対照表とは	簡単な貸借対照表が作成できる	
4.	収益・費用とは	収益・費用の勘定科目が理解できる	
5.	損益計算書とは	簡単な損益計算書が作成できる	
6.	仕訳と仕訳帳	仕訳ができる	
7.	総勘定元帳と転記	記帳技術を習得する	
8.	試算表の作成	試算表が作成できる	
9.	決算手続	決算手続ができる	
10.	純損益の計算	決算ができる	
11.	損益計算書・貸借対照表の作成	貸借対照表・損益計算書が作成できる	
12.	日商簿記検定試験の概要	合格点をとる（第1段階）	
13.	模擬問題の解説	合格点をとる（第2段階）	
14.	模擬問題の解答演習	合格点をとる（第3段階）	
15.	まとめと受験対策	合格点をとる（第4段階）	
教科書	合格テキスト日商簿記（TAC出版）		
参考書	合格テキスト日商簿記（TAC出版）		
学習成果の 評価方法	受講態度（10％） 小テスト（20％） 定期試験（70％） 到達度確認テストを実施後、次回授業でフィードバックします。		
特記すべき 事項	担当者は大学編入を目的とした学校で、簿記会計の授業経験を有しています。		
質問・相談 の受付	授業時間中、授業時間外にいつでも受け付けます。		

科 目	キャリアデザインⅢ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	梅野智美	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	「社会を学ぶ」 1) 「コミュニケーション」では、情報活用能力を活かしながら、自分と周囲との相互理解について学ぶ。 2) 「社会の仕組み」では、筑後市における課題に対して、各グループで課題解決策を考え地域活性にむけたプレゼンテーションを行う。		
到達目標	グループワークを通し、他者と協働し課題を解決する力を身に付けることができる。 地域への調査を通して、課題解決に向けたコミュニケーション力を身に付けることができる。 調査したことをまとめ、他者に表現するプレゼンテーション力を身に付けることができる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している、他者と協働し課題を解決する力、課題解決に向けたコミュニケーション力を身に付ける、他者に表現するプレゼンテーション力を身に付けることなどを評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	この授業での学び。各グループでの課題解決型について等のガイダンス		
2.	企業研究	講義内容を振り返ること	
3.	就職試験対策（SPI）	講義内容を振り返ること	
4.	就職対策（面接）	講義内容を振り返ること	
5.	情報活用能力とは AI時代を迎え、ますます必要になる「情報活用能力」とは何かを知る	講義内容を振り返ること	
6.	情報活用能力とは PCやスマホを使い、事例に対して情報収集、調査をする	講義内容を振り返ること	
7.	プレゼンテーションスキルはコミュニケーションスキル 社会において円滑な人間関係を形成するために	講義内容を振り返ること	
8.	社会人としての身だしなみ（化粧）	講義内容を振り返ること	
9.	「個人情報」を学ぶ	講義内容を振り返ること	
10.	税金の仕組み	講義内容を振り返ること	
11.	筑後市を知る。筑後市をより豊かに	グループワークを振り返ること	
12.	各グループで課題の決定、課題解決に向けた調査	グループワークを振り返ること	
13.	プレゼンテーション 各班の調査発表	グループワークを振り返ること	
14.	働く時の基礎知識（社会保険労務士）	講義内容を振り返ること	
15.	キャリアデザインで学んだこと、これから社会人になるにあたって（感話）		
教科書	『就職活動ハンドブック』ディスコ編・出版 他		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（30％）授業内発表（20％）その他【課題レポート】（50％）		
特記すべき 事項	学生の主体的な参加が求められる講義です。講師紹介と講義のお礼の言葉は学生が担当します。		
質問・相談の 受付			

科 目	親鸞入門Ⅱ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、生活の基礎
担当者	青木 玲	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	11月27日（土）～29日（月）の2泊3日の日程で、京都東本願寺の報恩講に奉仕団として参拝する。東本願寺の同朋会館に宿泊し、法要参拝・講義・座談などを行うことによって、親鸞の生涯と教えを学ぶ。		
到達目標	報恩講奉仕団に参加し、親鸞の生涯と教えが理解できるようになる。		
学習成果の 評価基準	報恩講奉仕団への積極的な参加を「受講態度」の評価とする。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	授業概要	『授業要覧』『親鸞 生涯と教え』を読む	
2.	11/27（土） オリエンテーション	『親鸞 生涯と教え』を読む	
3.	講義	『親鸞 生涯と教え』を読む	
4.	座談	『親鸞 生涯と教え』を読む	
5.	11/28（日） 晨朝勤行参拝	『親鸞 生涯と教え』を読む	
6.	法要参拝①	『親鸞 生涯と教え』を読む	
7.	法要参拝②	『親鸞 生涯と教え』を読む	
8.	清掃奉仕	『親鸞 生涯と教え』を読む	
9.	夕事勤行参拝	『親鸞 生涯と教え』を読む	
10.	講義	『親鸞 生涯と教え』を読む	
11.	座談	『親鸞 生涯と教え』を読む	
12.	11/29（月） 晨朝勤行参拝	『親鸞 生涯と教え』を読む	
13.	諸殿拝観	『親鸞 生涯と教え』を読む	
14.	座談	『親鸞 生涯と教え』を読む	
15.	レポート作成	『親鸞 生涯と教え』を読む	
教科書	『親鸞 生涯と教え』		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（70％）レポート（30％）		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科 目	心理学	開講時期 履修方法	2年後期 選択、生活の基礎
担当者	徳本 祥	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	カウンセリング基本的技術である「傾聴」について考えてみたい。具体的な傾聴の方法をいくつかのステップに分けて解説するとともに、傾聴を可能にする「場」の設定について説明する。		
到達目標	日常生活において相手の話を聞くことと、カウンセリングにおける「傾聴」との違いを理解する。日常生活において相手の話を聞くことと、カウンセリングにおける「傾聴」との違いを理解する。		
学習成果の 評価基準	各自振り分けられた範囲のレジュメを作成し、授業での発表を授業内発表の評価とする。期末に授業内容を踏まえて教科書感想文を提出することを評価する。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予習・復習	
1.	授業のねらい、授業の進め方、そして、評価		
2.	カウンセリングとは	「カウンセリング」という言葉の意味を辞書で調べる	
3.	カウンセリングの基本的技術としての傾聴	傾聴と日常会話との違いについて考える	
4.	1聞き上手は話さない/2真剣に聞けるのは1時間以内/3相づちを打つ	予め読んでおく	
5.	4 相づちの種類は豊かに/5相づちはタイミング/6避雷針になる	予め読んでおく	
6.	7 昔の主婦は聞き上手/8自分のことは話さない/9他人のことはできない	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
7.	10 聞かれたことしか話さない/11質問には2種類ある/12情報以外の助言は無効	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
8.	13 相手の話に興味をもつ/14教えるより教えてもらう態度で/15素直に聞くのが極意	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
9.	16聞き上手には上下関係なし/17寡黙と「今/ここ」の感覚/18嘘はつかない・飾らない	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
10.	19 相手の話は相手のこと(わかるが勝ち)/20評論家にならない/21共感と芝居上手	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
11.	22 LISTENせよ、ASKするな/23話し手の波に乗る/24言い訳しない	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
12.	25 説明しない/26話しには小道具がいる/27お茶室は最高の場	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
13.	28 したくない話ほど前置きが長い/29聞き出そうとしない/30秘密の話には羽がある/31沈黙と間の効用	担当グループはレジュメ作成、それ以外は予め読んでおく	
14.	グリーフ・ケア	お葬式の果たす役割について考える	
15.	まとめ		
教科書	東山紘久著「プロカウンセラーの聞く技術」創元社		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（20%） 授業内発表（40%） その他【教科書感想文】（40%）		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科 目	心理学	開講時期 履修方法	2年前期 選択、専門科目
担当者	河村陽子	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	心理・社会的視点から人間の発達を学び、子どもから高齢者までの各発達段階に応じた図書サービスの心理学的な根拠を学ぶ。レファレンスサービスのスキルアップとして、障がいのある人に対する基礎的な知識と基本的対応を学ぶ。さらに、司書としてのソーシャルスキルアップを目指す。		
到達目標	人間のこころの発達が理解できるようになる。多様な特性のある人を理解し、特性に応じた対応（コミュニケーション）が図れるようになる。サービス提供者としてのソーシャルスキルアップを目指す。		
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している、人間のこころの発達への理解と、多様な障がいに対する基礎的な知識と基本的対応に関する習得状況をを図るために、到達確認テストを実施し評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授 業 時 間 外 学 習 予 習 ・ 復 習	
1.	オリエンテーション・授業のねらいと進め方について	シラバスを読んでおく	
2.	社会心理学 1 個人の私	自分の第一印象について考えを整理しておく	
3.	社会心理学 2 集団の中の私	メディアリテラシーについて自分の考えを整理しておく	
4.	発達心理学 1 乳児期・幼児期	子どもの頃に好んだ絵本を振り返っておく	
5.	発達心理学 2 学童期・青年期	思春期に夢中になった本を振り返っておく	
6.	発達心理学 3 成人期以降	周囲の大人がどのような本を読んでいるか観察しておく	
7.	臨床心理学 1 障がいのある子どもへの基礎的理解	発達障がいについて復習しておく	
8.	臨床心理学 2 障がいのある子どもへの基本的対応	インクルーシブ教育について復習しておく	
9.	臨床心理学 3 学童期・思春期にみられるこころの問題	いじめ・不登校の現状を予習しておく	
10.	臨床心理学 4 成人期以降にみられるこころの問題	うつ病について復習しておく	
11.	臨床心理学 5 認知症のある人への心理的理解と対応	自分の居住地の「認知症カフェ」について調べておく	
12.	ソーシャルスキルアップ 1 コミュニケーション技術～理論編～	傾聴・受容・共感について復習しておく	
13.	ソーシャルスキルアップ 2 コミュニケーション技術～実践編～	開かれた質問と閉じられた質問について復習しておく	
14.	ソーシャルスキルアップ 3 ストレスマネジメント	自分のストレスへの対処法について整理しておく	
15.	まとめ	これまでの振り返りをしておく	
教科書	なし		
参考書	なし		
学習成果の 評価方法	授業態度（10%） 小テスト（30%） 授業内課題（60%）		
特記すべき 事項	臨床心理学として10年の実務経験		
質問・相談等 の 受 付	研究室に質問に行く		

科 目	社会学	開講時期 履修方法	2 年後期 選択、生活の基礎
担当者	中村秀一	授業形態 単位数	講義 2単位
授業概要	社会問題とはどのような状態をもっているのか、自殺者の増加、凶悪犯罪、家族問題、高齢者の生活問題等、これらの現状の背景にある社会構造との関係でこれを考察し、一人の人間としてよりよく生きる社会とはどのような社会なのかを考える。		
到達目標	社会問題が発生するメカニズムを社会構造を通して理解することができる。		
学習成果の 評価基準	到達目標に明示している社会問題が発生するメカニズムを理解するという達成度を測るために、授業内課題を実施し評価する。また、予習復習による理解度を図るためにも授業内での質問やグループ活動などの積極的授業態度をもって評価とする。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授 業 時 間 外 学 習	
		予 習 ・ 復 習	
1.	社会学とは何か 社会学の持つ意味について理解をしていく	社会と個人との関係を整理しておくこと	
2.	社会病理現象とは何か 現代の社会病理について考えていく	社会病理の具体的な事項について調べておき、社会病理現象について理解すること	
3.	わが国の社会問題① 資本主義の生み出す問題とわが国特有の問題を講義する	資本主義社会が生み出す問題を事前に考え、具体的に整理すること	
4.	わが国の社会問題② 第3回に整理した問題の要因について考察する	資本主義社会と生活問題の関係性を事前に考え、具体的に整理すること	
5.	資本主義と社会主義の社会的構造的特質について 社会構造の違いから生み出される問題を整理する	社会構造の違いによる生活問題の違いを理解し整理すること	
6.	民主主義と自由・義務とは何か	民主主義とは何かを事前に考え、個人の責任と義務について整理すること	
7.	社会とは何か、文化・教育とは何か	文化・教育の国民に与える意味について事前に考え、その意味を理解整理すること。	
8.	家族とは何か① 家族の縮小化や独り暮らしの実態から家族の問題を考える	家族と家庭の概念を整理しておくこと	
9.	家族とは何か② 家族の持つ意味について理解を深める	家族の定義について考え、その役割の変化について整理すること	
10.	人生における仕事とは何か 人生にとって仕事とは何かを個人レベルで考える	自分にとっての仕事とは何かを考えておくこと。人生と仕事の関係を整理すること。	
11.	人生を左右する価値観について考える 個人の生活文化と価値創造の意味を考える	自分にとって価値ある物事とは何かを考えておく。自分らしさと価値の関係を整理すること	
12.	政治とは何か① 政治と国民の幸せとの関係性を考察する	今の政治のトピックスを調べ、政治の目的を整理する	
13.	政治とは何か② 政治が国民に果たすべき役割を考察する	国民主権とは何かを調べ、代議制としての政治家が果たすべき役割について整理すること	
14.	思想・信教の自由とは何か 個人の生き方を左右する思想・信教について学習する	憲法、国際条約から思想・信教の自由の項目を調べ、自由が保障される意味を整理すること	
15.	これまでのまとめと振り返り 到達度の確認	学修が弱いところを振り返る	
教科書	岩上真珠著 「ソーシャルワーカーのための社会学」有斐閣		
参考書	必要に応じてプリントを配布する。		
学習成果の 評価方法	受講態度(20%)、授業内質問による予習状況の確認(20%)、授業内課題(60%)15回目の授業において、授業内課題の内容のフィードバックを行います。		
特記すべき 事項	福岡県社会福祉協議会勤務(昭和60年～平成13年12月)		
質問・相談 の受付	質問・相談は、研究室で受け付けます。ただし、簡易な質問であれば、研究室に限らず随時対応します。		

科 目	情報処理Ⅲ	開講時期 履修方法	1年後期 選択、生活の基礎
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	表計算ソフト「Excel」を取りあげる。表計算の基本的な仕組みの理解からはじめ、グラフ作成、関数を使った計算、データベースとしての利用、ワープロソフトとの連携等演習を行うことにより、Excelを実用的に使いこなせるようになる。		
到達目標	Excelの基本的操作ができ、表やグラフを作成し、データベース操作ができるようになること。		
学習成果の 評価基準	単元ごとに課題で理解度を確認する。 定期試験で総合力を問う。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	表計算ソフトとは		
2.	Excelの基本	教科書p2～22	
3.	データの編集 1	教科書p23～44	
4.	データの編集 2	教科書p45～56	
5.	表の編集 1	教科書p57～69	
6.	表の編集 2	教科書p70～84	
7.	ブックの印刷	教科書p85～102	
8.	グラフの作成	教科書p103～125	
9.	図形の作成	教科書p126～140	
10.	ブックの利用と管理	教科書p141～155	
11.	関数 1	教科書p157～174	
12.	関数 2	教科書p175～181	
13.	関数 3	教科書 p 182～190	
14.	データベース機能	教科書p191～212	
15.	総合学習問題	総復習	
教科書	『Excel2016クイックマスター（基本編）』 ウイネット		
参考書			
学習成果の 評価方法	定期試験：50% 授業内課題：50%		
特記すべき 事項	情報処理士必修		
質問・相談 の受付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvushuotani.online		

科 目	情報処理Ⅳ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	坂川和彦	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	情報処理Ⅲで学習した、表計算ソフトの技能をさらに高め、就職に役立つよう表計算検定試験の合格を目指す。練習問題を数多くこなし、問題に応じてポイントを詳しく解説していく。また、知識試験の対策も併せて行い、表計算ソフト全般に関する技能・知識を深める。		
到達目標	Excelの検定試験に合格する。 検定試験に合格できるよう、Excelの各種機能を使いこなせるようになる。		
学習成果の 評価基準	Excel検定試験対策問題 Excel検定試験		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	ワークシート間の連携	配布プリント	
2.	日付・時間関数	配布プリント	
3.	検索／行列関数	配布プリント	
4.	ピボットテーブル	配布プリント	
5.	マクロ	配布プリント	
6.	知識試験対策1	配布プリント	
7.	実技試験対策1	配布プリント	
8.	知識試験対策2	配布プリント	
9.	実技試験対策2	配布プリント	
10.	知識試験対策3	配布プリント	
11.	実技試験対策3	配布プリント	
12.	模擬試験演習1	配布プリント	
13.	模擬試験演習2	配布プリント	
14.	模擬試験演習3	配布プリント	
15.	模擬試験演習4	配布プリント	
教科書	『Excel2016クイックマスター（基本編）』 ウイネット		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業内課題：50% 検定試験受験：50% 授業内課題はチェックしてフィードバックします。		
特記すべき 事項	情報処理士必修		
質問・相談等 の 受 付	図書館で随時受付 電子メールでも sakagawa@kvushuotani.online		

科 目	書道Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	毛筆実技。学生は主に楷書、行書を中心に理解し、日常の毛筆に役立てる所の技法を理解する。		
到達目標	毛筆を基礎から学び、日本文化に触れ、書技と一般的常識を習得した社会人に成長するよう育成する。		
学習成果の 評価基準	技術の達成度を測るため、添削を行い、どれだけ向上したか採点する。また定期試験を行う。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	ペン字の練。(ひらがな・楷書)	授業での復習	
2.	ペン字の練習 (ひらがな・行書)	授業での復習	
3.	書道道具の確認。小筆の持ち方。姿勢と執筆法	授業での復習	
4.	楷書の基本点画の書き方解説	授業での復習	
5.	楷書の練習 1	授業での復習	
6.	楷書の練習 2 名前の練習	授業での復習	
7.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの書き方の解説	授業での復習	
8.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの練習 1	授業での復習	
9.	熨斗袋・熨斗紙の表書きの練習 2	授業での復習	
10.	行書の基本点画の書き方解説	授業での復習	
11.	行書の練習 1	授業での復習	
12.	行書の練習 2	授業での復習	
13.	年賀状の練習 1	授業での復習	
14.	年賀状の練習 2	授業での復習	
15.	オリジナル年賀状の作成 清書	授業での復習	
教科書	プリント 写本		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（30％） 授業内課題（30％） 定期試験（40％）		
特記すべき 事項	書道道具準備、14・15葉書準備		
質問・相談 の受付	授業後対応します		

科 目	華道Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	自由花、盛花、生花		
到達目標	皆伝を取得する		
学習成果の 評価基準	皆伝の取得を評価する。到達度を測るため、授業内課題、まとめで評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	自由花		
2.	盛花	自宅で生け直す	
3.	生花	自宅で生け直す	
4.	生花（新風体）	自宅で生け直す	
5.	生花（新風体）	自宅で生け直す	
6.	生花	自宅で生け直す	
7.	自由花	自宅で生け直す	
8.	盛花	自宅で生け直す	
9.	生花	自宅で生け直す	
10.	自由花	自宅で生け直す	
11.	盛花	自宅で生け直す	
12.	生花	自宅で生け直す	
13.	自由花	自宅で生け直す	
14.	生花	自宅で生け直す	
15.	自由花・まとめ	自宅で生け直す	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（10％） 授業内課題（50％） その他【まとめ】（40％）		
特記すべき 事項	鉢の準備、7ペットボトルの準備、10牛乳パックの準備		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	華道Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、生活の基礎
担当者	市岡久美子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	自由花、盛花、生花		
到達目標	華掌（師範科）の取得、脇教授３級の取得		
学習成果の 評価基準	華掌（師範科）、脇教授３級の取得を評価する。到達度を測るため、授業内課題、まとめて評価する。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予習・復習	
1.	生花		
2.	生花（新風体）	自宅で生け直す	
3.	生花（新風体）	自宅で生け直す	
4.	自由花	自宅で生け直す	
5.	盛花	自宅で生け直す	
6.	生花	自宅で生け直す	
7.	自由花	自宅で生け直す	
8.	盛花	自宅で生け直す	
9.	生花	自宅で生け直す	
10.	生花（新風体）	自宅で生け直す	
11.	自由花	自宅で生け直す	
12.	盛花	自宅で生け直す	
13.	生花	自宅で生け直す	
14.	生花	自宅で生け直す	
15.	生花・まとめ	自宅で生け直す	
教科書	池坊花伝書		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（１０％） 授業内課題（５０％） その他【まとめ】（４０％）		
特記すべき 事項	鉄の準備		
質問・相談等 の 受 付			

科 目	書道Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、生活の基礎
担当者	下川佐知子	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	毛筆実技。学生は、漢字、仮名を理解し、日常の毛筆に役立てる書の技法を理解する。		
到達目標	仮名を中心に日本文化を学び、書を通じて常識ある社会人に成長するよう育成する。		
学習成果の 評価基準	技術の達成度を測るため、添削を行い、どれだけ向上しているか採点する。また定期試験を行う。		
	授 業 計 画（ 授 業 内 容 ）	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	漢字の変遷の解説	授業での復習	
2.	筆の持ち方（大筆） 運筆練習	授業での復習	
3.	楷書の基本①	授業での復習	
4.	楷書の基本②	授業での復習	
5.	楷書の基本③	授業での復習	
6.	行書の基本①	授業での復習	
7.	行書の基本②	授業での復習	
8.	行書の基本③	授業での復習	
9.	漢字仮名交じり書①	授業での復習	
10.	漢字仮名交じり書②	授業での復習	
11.	漢字仮名交じり書③	授業での復習	
12.	年賀状の練習 1	授業での復習	
13.	年賀状の練習 2	授業での復習	
14.	年賀状の練習 3	授業での復習	
15.	年賀状の清書	授業での復習	
教科書	プリント写本		
参考書			
学習成果の 評価方法	受講態度（30％） 授業内課題（30％） 定期試験（40％）		
特記すべき 事項	書道道具準備、14／15葉書準備		
質問・相談 の 受 付	授業後対応します		

科 目	英語Ⅲ	開講時期 履修方法	2年前期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリル、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の意見を英語で書いて、文法ミスを直しながら、文法を復習する。		
学習成果の 評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。毎授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	シラバスと新聞読書ジャーナルの説明、(幼児教育学科の学生がいれば、発音教科書の説明	教科書とノートの準備	
2.	英語の子音の紹介とドリル、歌、Interchange 5th ed. Unit 1 (1,2,3)、レッスン3の個人 予約受け取り	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
3.	個人授業(1人または2人)：発音ドリル、歌、読書ジャーナルの文法ミスの印と直し方を 第一下書きを例えとして説明する。	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
4.	Peter Piper、Roll Over(ふり付き)、発音：(p, t, k)、Unit 1 (4, 6, 8, 10)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
5.	発音：(f, v)、ドリル：Fool's Foal, Buggy Bumpers, Big Vic 歌と社会言語説明	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
6.	発音：(th)、ドリル：Beth's Thighs, Thad and the Thieves、歌と社会言語説明	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
7.	発音：(th) ドリル：Thorton Thumbed, Sally Sifted、歌	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
8.	発音：('s' vs. 'sh')、ドリル：Seashells, Seat Sheets、歌	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
9.	発音：('s' vs. 'sh')、ドリル：その全て、歌	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
10.	発音：(-m, -n, -ng)、ドリル：一番目、歌：Yellow Submarine、Unit 4 (1,2,4,5)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
11.	発音：(-m, -n, -ng)、ドリル：2-3番目、歌：Yellow Submarine、Unit 4 (8,10,11,12,14)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
12.	発音：(-m, -n, -ng)、ドリル：4番目、歌：Bingo!、Unit 5 (1,2,3)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
13.	発音：('w-' vs. 'r-')、ドリル、歌：Bingo!、Phrasal Verbsの説明、練習プリント	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
14.	発音：('y-' & 'r-')、ドリル、歌：Summertime、Phrasal Verbsの練習プリント、Unit 6 (1,2)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
15.	発音：('l-' & 'r-')、ドリル、歌：Summertime、インタビュー試験のスキプトの説明	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
教科書	New Interchange 2, 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル。 英和と和英辞典を持つのはおすすめです。		
参考書			
学習成果の 評価方法	授業活動報告(5%) Workbookとプリント課題 (20%) 定期試験(50%) 新聞読書ジャーナル：下書き(12.5%) 書き直し(12.5%)		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			

科 目	英語Ⅳ	開講時期 履修方法	2年後期 選択、生活の基礎
担当者	ベンカート	授業形態 単位数	演習 1単位
授業概要	ペアとグループワークで英会話を練習、発音ドリル、英語の歌、Workbook、と読書ジャーナルを使って、学生の英語の実力をレベルアップします。		
到達目標	単語と文法を復習しながら、英語の日常聞き取りと会話に慣れる。自分の思いと意見を英語で書いて、そこに出る文法ミス を自分が知っている英文法で直して、文法を復習する。		
学習成果 の評価基準	Workbookとプリント課題への取り組みを評価基準とします。授業毎に提出してください。 なお、課題とする新聞読書ジャーナルへの取り組みも評価基準となります。 詳細については、1回目の授業時に説明します。		
	授 業 計 画 (授 業 内 容)	授業時間外学習 予 習 ・ 復 習	
1.	シラバスの説明、発音：'r-' vs. 'l-' 説明とドリル1～4番目の文章、歌：Skip to My Lou、Unit 7 (1, 2, 3, 5)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
2.	発音：'r-' vs. 'l-' 説明とドリル5～8番目の文章、歌：Skip to My Lou、Unit 7 (6, 7, 8, 9)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
3.	発音：'r-' vs. 'l-' vs. 'tt/dd' 説明とドリルの文章、歌：Skip to My Lou、Unit 8	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
4.	発音：'pr-' vs. 'pl-' 説明とドリルの文章、歌：Skip to My Lou、Unit 9 (1, 2, 3)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
5.	発音：'br-' vs. 'bl-' 説明とドリルの文章、歌：Skip to My Lou、Unit 9 (9, 10)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
6.	発音：'kr-' vs. 'kl-' 説明とドリルの文章、歌：Oh, Susanna!、Unit 10 (1, 2, 3)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
7.	発音：'gr-' vs. 'gl-' 説明とドリルの文章、歌：Oh, Susanna!、Unit 10 (5, 6, 8, 10)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
8.	発音：'fr-' vs. 'fl-' 説明とドリルの文章、歌：Oh, Susanna!、Unit 12 (3, 4, 5)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
9.	発音：'thr-' 説明とドリルの文章、歌：Over the River、Unit 12 (7, 8, 10)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
10.	発音：'sl-' 説明とドリルの文章、歌：Over the River、Unit 13 (2, 3)、プリント	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
11.	発音：'tr-' と 'dr-' 説明とドリルの文章、歌：Yankee Doodle、Unit 13 (4, 5, 12)、プリント	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
12.	発音：'spr-' vs. 'spl-' 説明とドリルの文章、歌：Yankee Doodle、Unit 15 (2, 3, 4)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
13.	発音：'str-' と 'skr-' 説明とドリルの文章、歌：We Wish You a Merry Christmas、Unit 15	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
14.	発音：「音」の最後にある子音と子音固まりの説明と例え紹介、歌：On top of Old Smoky、Unit 16 (1, 2, 3, 5)	教科書の予習、発音ドリルQRコードと練習	
15.	歌：On top of Old Smoky、Unit 16 (6, 7, 8)、インタビュー試験のスキリプトの説明	Unit 16 (6)、意味を調べる。	
教科書	New Interchange 2, 5th Ed. StudentとWorkbook、英語発音ドリル。 英和と和英辞典を持つのはおすすめです。		
参考書			
学習成果 の評価方法	授業活動報告 (5%) Workbookとプリント課題 (20%) 定期試験 (50%) 新聞読書ジャーナル：下書き (12.5%) ; 書き直し (12.5%)		
特記すべき 事項			
質問・相談 の受付			